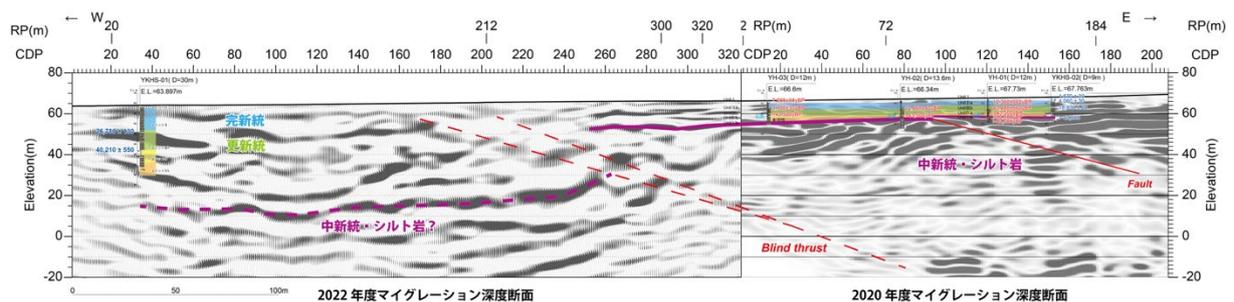


3. 1 横手盆地東縁断層帯（南部）の調査

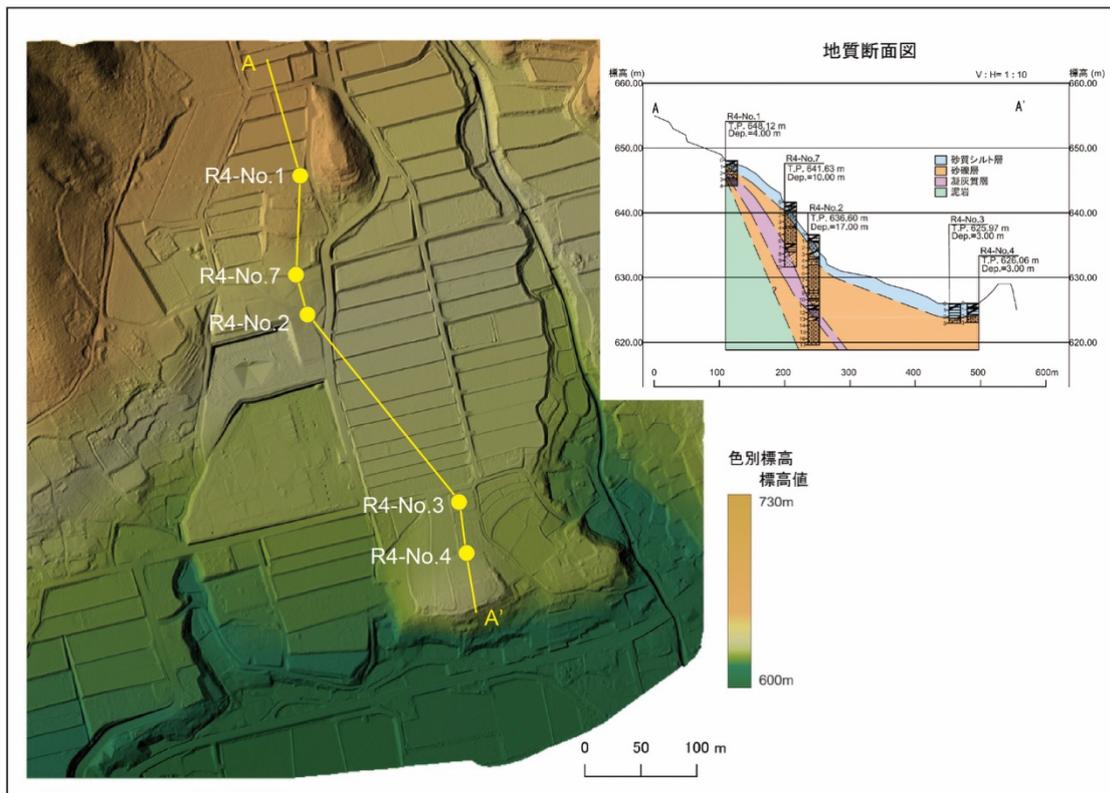


美郷町金沢乗上地区における金沢断層と東側隆起の撓曲崖。撓曲崖を横断して、ドローン LiDAR、群列ボーリング調査、S波反射法地震探査を実施した。



横手市平鹿地区におけるドローン LiDAR・ボーリング・S波反射法地震探査の結果を統合した地形地質断面図。盆地側を延びる伏在断層と平均変位速度が推定された。

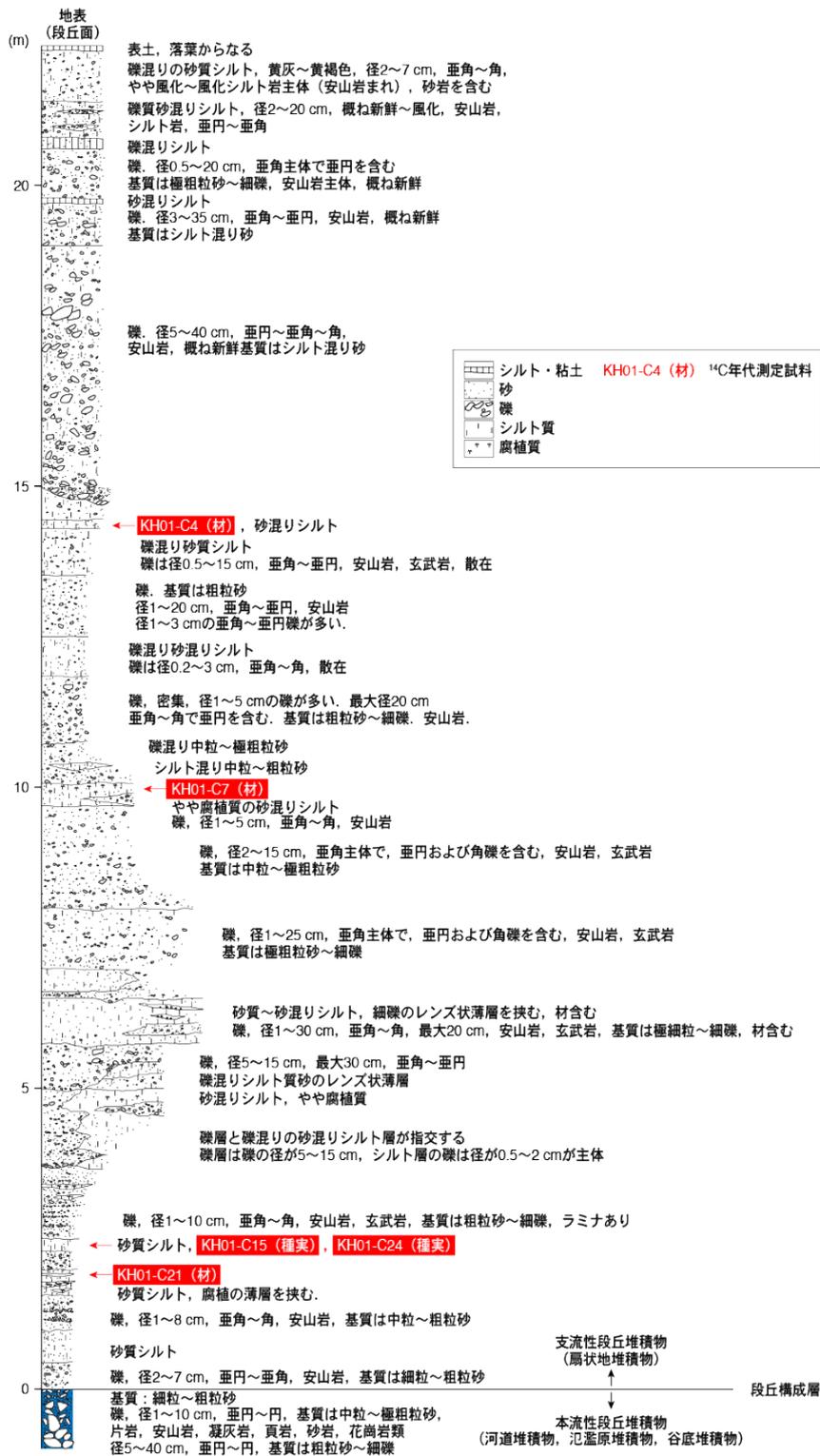
3. 2 長野盆地西縁断層帯（麻績区間）の調査



長野盆地西縁断層帯(麻績区間)下井堀地区で実施したボーリング調査

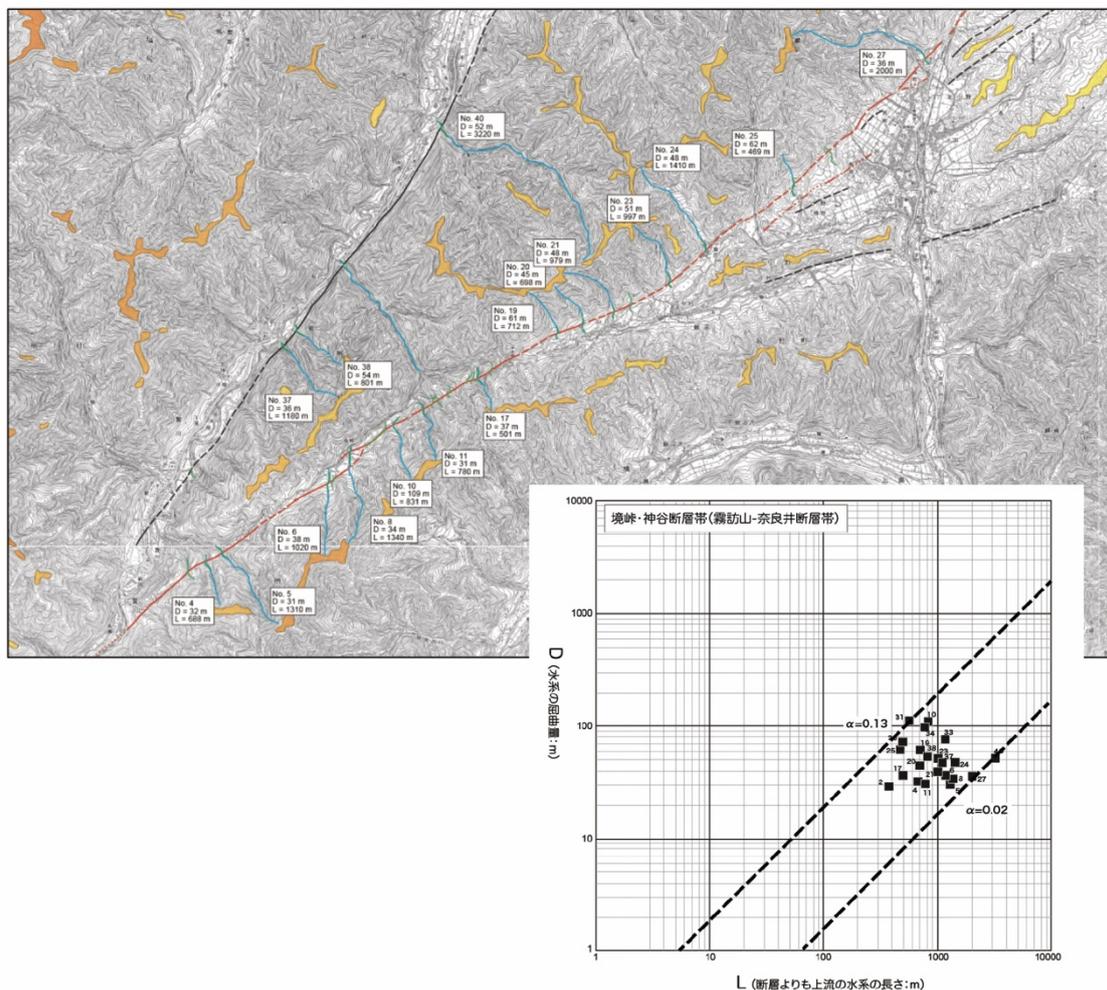
長野盆地西縁断層帯(麻績区間)の平均変位速度等を明らかにするため、下井堀地区(東筑摩郡麻績村)において、UAVを用いた航空レーザー測量とボーリング調査を実施した。R4-No.2とR4-No.7では段丘構成層中に凝灰質シルトが確認された。

3. 3 身延断層の調査



山梨県南巨摩郡南部町中野北原における段丘面の詳細地質柱状図
身延断層により変形を受けた段丘面の構成層中に挟在する材化石及び大型植物化石 (種
実) を採取し、放射性炭素年代測定結果に基づいて段丘面の形成時期を検討した。

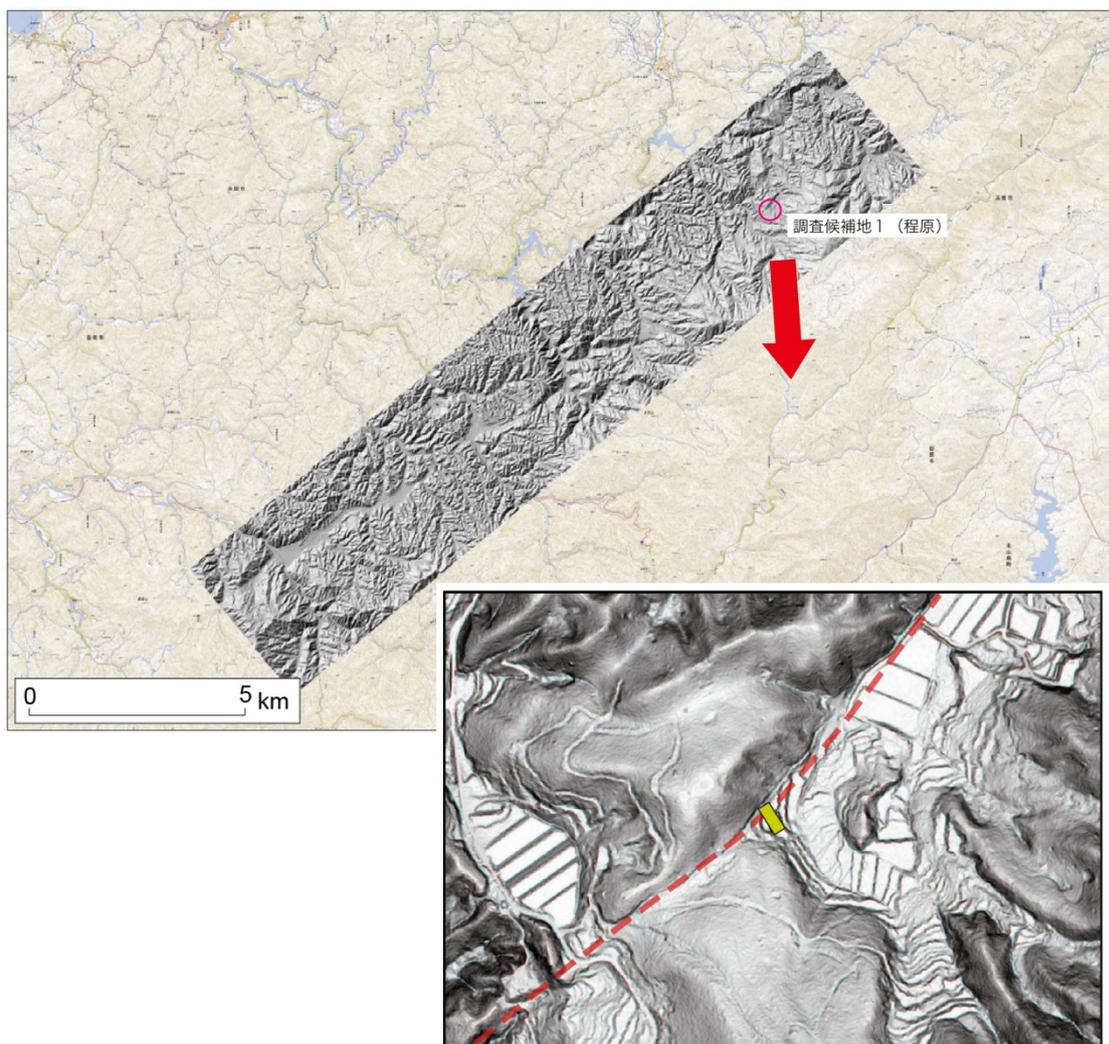
3. 4 境峠・神谷断層帯（霧訪山-奈良井断層帯）の調査



境峠・神谷断層帯（霧訪山-奈良井断層帯）で実施した水系屈曲率の検討

境峠・神谷断層帯（霧訪山-奈良井断層帯）は長野県中部に位置する長さ約 28 km の右横ずれ断層である。この断層帯の水系の屈曲量(D)と断層よりも上流の長さ(L)を計測して屈曲率(α)の値を求め、平均変位速度(横ずれ成分)の検討を行なった。

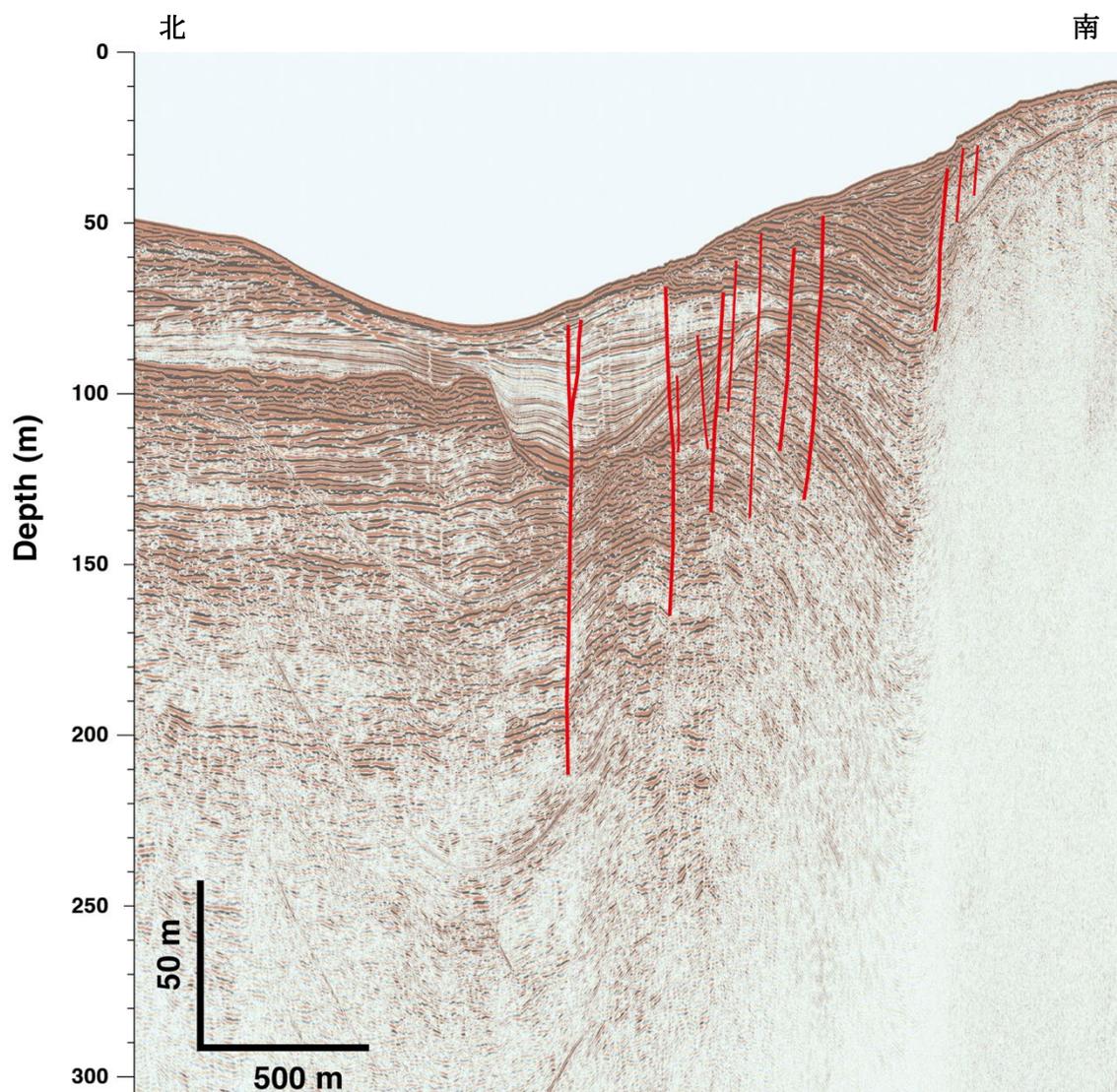
3. 5 弥栄断層の調査



弥栄断層で実施した航空レーザー測量と調査候補地の検討

弥栄断層（島根県）の過去の活動に関するデータを充実させるため、弥栄断層の北半部において航空レーザー測量を実施した。作成したデジタル標高モデルを用いて地形陰影図等を作成し、来年度にトレンチ調査等を実施する調査候補地を検討した。

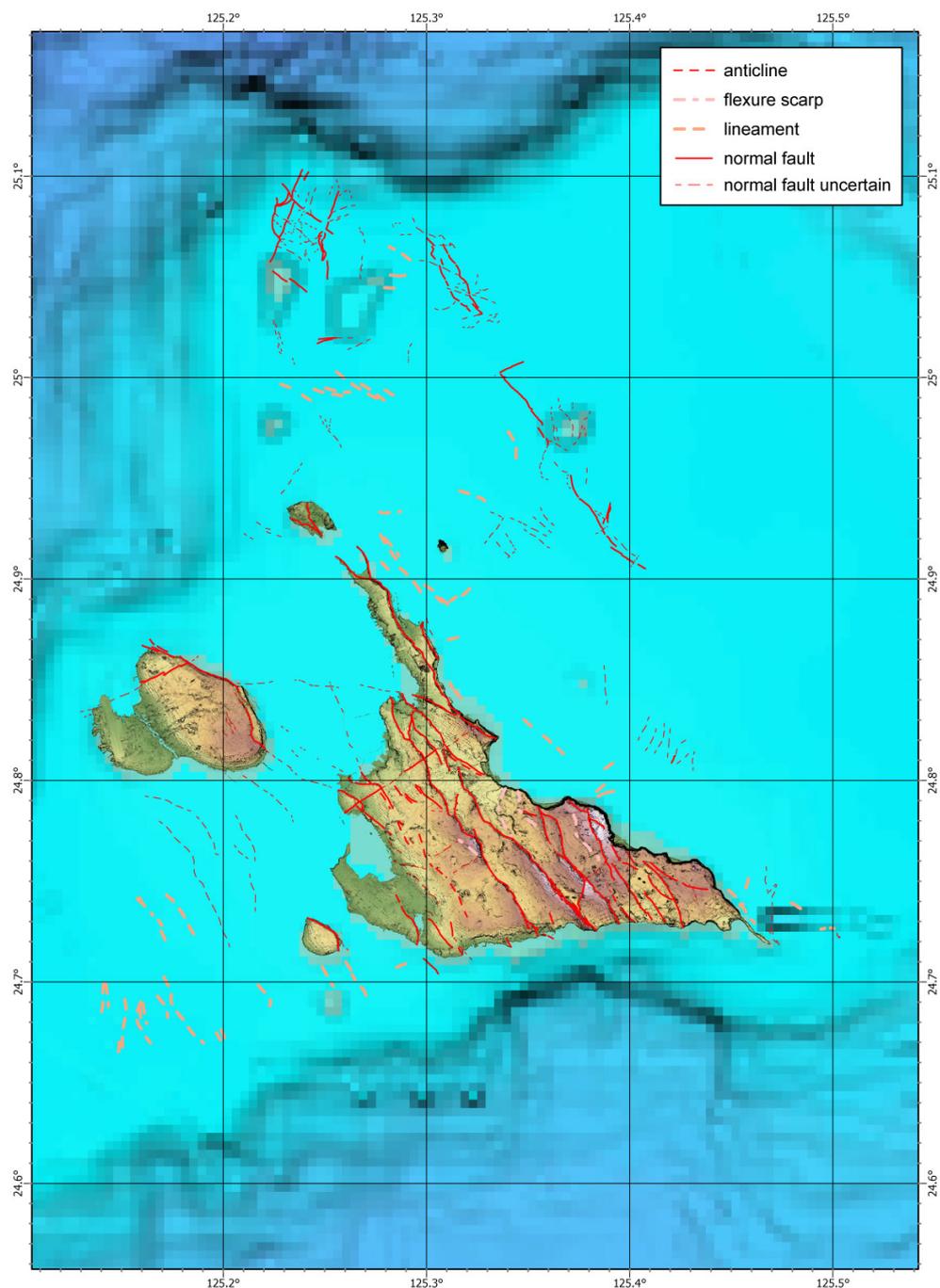
3. 6 布田川断層帯の調査



島原湾南縁で実施した高分解能音波探査で取得した探査記録断面（D4 測線）

布田川断層帯宇土半島北岸区間を構成する海底活断層を確認し、その正確な位置・連続性を検討した。図の深度は、P波の伝播速度を1,500 m/sと仮定して概算。

3. 7 宮古島断層帯の調査



陸域の地形データは国土地理院の数値地形データ（5 mメッシュ）、海域の地形データには GEBCO_2022 Grid (sub-ice topo/bathy)を使用した（GEBCO Compilation Group, 2022）。

宮古島断層帯を含む陸域の活断層と周辺海域において活断層と変動地形の判読を行い、宮古島および周辺海域の断層分布を明らかにした。また、判読結果をもとに令和5年度以降の年代測定のための試料採取候補地点を選定した。